

授業科目名	実務総合演習Ⅱ Seminar on Legal PracticeⅡ
授業科目群	法律実務基礎科目
標準学年	3年次
必修・選択の区別	必修
開講学期	後期
開講曜日・時限	隔週水曜日・Aクラス:3時限 Bクラス:4時限
単位数	1単位
担当教員名	安武雄一郎・加藤直人・高松賢介 (Yasutake Yuichiro, Kato Naoto, Takamatsu Kensuke)
授業の目的	実務に必要とされる論理的思考力、プレゼンテーション能力、文書作成能力の涵養を目的とする。
履修条件	特になし
到達目標	カリキュラムマップ、到達目標科目対応表及び学修ロードマップを参照のこと。
授業の概要	民事及び刑事の実務上重要な問題について、口頭によるプレゼンテーション、及び、文書作成を通して検討する。 Basic lecture on civil and criminal practice.
授業計画	第1回 刑事(1) 公判①(9月26日) 第2回 民事(1) 民事法総合(10月17日) 第3回 刑事(2) 公判②(10月31日) 第4回 民事(2) 民事法総合(11月14日) 第5回 刑事(3) 検察官講義(11月28日) 第6回 民事(3) 民事法総合(12月12日) 第7回 刑事(4) 刑事弁護の課題(1月9日) 第8回 民事(4) 民事執行・保全(1月23日)
授業の進め方	具体的な事例を検討素材とし、法律上の問題点に関する議論、及び、事前課題等の解説を行う。
教科書及び参考図書等	各自の使用する基本書、判例百選等。
試験・成績評価等	実務系科目であり、多角的な観点からの評価が必要であることから、発言:20%、課題:40%、期末試験:40%の割合による相対評価を行う。期末試験は、刑事法の論文問題、民事法の短答問題を出題の予定である。
事前学習	必要に応じ、教員が指示する。
課題レポート等	必要に応じ、教員が指示する。
オフィスアワー	質問などがある場合、授業終了後に対応します。それ以外の時間帯でも、学内で見かけた際に声をかけてもらえれば、質問を受け付けます。また、メールなどで連絡があれば、適宜対応いたします。
その他	